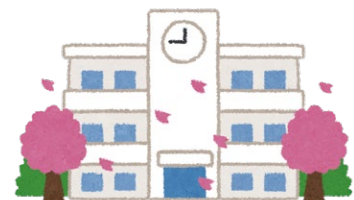




発行
 (一社)北九州市PTA協議会
 北九州市小倉北区大門一丁目6番43号
 (北九州市立生涯学習総合センター2階)
 ☎(093)581-7268
 発行責任者
 会長 三浦 隆史

ホームページでも
 情報
 発信中!!

第67回日本PTA九州ブロック研究大会
 おきなわ大会

去る令和4年12月17日(土)・18日(日)、第67回日本PTA九州ブロック研究大会おきなわ大会が開催されました。本年度の大会スローガンは「ひろげ・つなぐ・未来へのリレー」結のこころです。このスローガンには「怒(じよ)・感謝・鶴瑞(じゃくずい)」の3つの心で、豊かで活力ある未来の地域社会を創る子どもを育てるために、PTAとして、大人としての役割を考えましようという思いが込められています。

北九州市は第5分科会(広報・地域連携)にて、戸畑区大谷小学校の取り組みの発表を中山隆会長と栗岡直也副会長が行いました。「地域で育む子どもたち」という題材で「大谷子ども教室」開校のきっかけや、活動報告、今後の課題など、精力的な活動を発表されました。

記念講演では、ガレッジセールのゴリ氏による講演が行われました。自身の子どもへの愛情の注ぎ方、そして心配事やフォローしたい気持ち溢れる一方「子どもは子どもで一人の個性」子どもも自分自身で人生の選択をし、しっかりと成長している」と強く感じる場面の思い出を涙ながらに語って頂きました。

この日集まった多くのPTA及び関係者に、勇気を力強く与えた講演となりました。

ご参加、ご協力頂きました皆様心より御礼申し上げます。



北九州市PTA協議会 令和4年度
 PTA会長・副会長・役員研修会

ヒーローとモデルと
 未来を語る

俳優の古原靖久氏、モデルの田中れいか氏にご講演をいただきました。戦隊ヒーロー「炎神戦隊ゴーオンジャー」のゴーオンレッド役などで活躍されている古原氏からは5歳から18歳まで児童養護施設で過ごした体験をお話しくださいました。辛い体験、施設を抜けて出して母親に会いに行ったエピソードをお話しいただきました。辛い環境から、芸能界に入ってNHKでの「あさイチ」で、出演者の方から家族のように支えてもらったことなどを通して、悔しさを感謝に変えていけたことや、闘病の末に再会できないまま亡くなった母親への思いなどをお聞きし、涙している参加者もいました。育った環境のせいにしてしまうことで、辛い経験も前向きに話せるようになったという古原氏のメッセージに感銘を受けました。

田中氏は、親元を離れて暮らしているなど、社会的に養護が必要な子どもたちを支える一般社団法人たすけあいの代表理事をされています。NHKの日曜討論への出演や、国の政策へ関わることになったお話しや、「生きる、育つ、守られる、参加する」の4つの子どもの権利条約を推進している活動や、東京都児童福祉審議会の子供アドボケイトの在り方に関する検討に参加されていることなどをお聞きしました。また、父親の暴力から児童養護施設へ入ることになった経緯や、友達との境遇の違いからの辛い気持ち、そんな中でも友達のお母さんに支えられ、

今では誰でも好きな自分になれることを子どもたちに伝えていくことなど、ご自身の体験や思いを伺いました。

後半には研修委員長の福田さんから、北九州市では令和3年度で2,363件の児童虐待相談対応があり、440人の子どもたちが親元を離れて暮らしている現状の紹介がありました。

今回の研修を通じて、虐待を受けていたり、親元を離れて暮らしていたりして社会的養護が必要な子どもたちが身近にいることを知りました。社会全体で子どもたちの育ちを支え、見守る輪がより広がっていくことを願ってやみません。

令和5年1月28日(土)
 15:00~17:00
 クラウンパレス小倉



浅野大介先生は現在、経済産業省経済産業政策局産業資産課長(兼)投資機構室長(兼)大臣官房Web3.0政策推進室長をされています。講演内容としては、自立×個別最適×STEM研究の講話から始まり、学校を「未来の創り手たち」の育つ場に「誰一人置き去りにしない教育システム」の構築と題してご講演頂きました。普段聞くことのできない教育DX推進についてなど、私たちPTA協議会の保護者にも分かりやすく、大変勉強になる講演会となりました。



教育DXでつくる「未来の教室」

令和4年度
 (一社)北九州市PTA協議会と
 教育委員会との教育懇談会

令和5年1月23日(月) 教育懇談会が開催されました。

教育委員会からは教育次長 古小路忠生様、学校教育部長 高橋英樹様、安全教育担当課長 高宮滋様、学校・家庭・地域連携担当主幹 佐藤文俊様におし頂き「コミュニティ・スクールの意義と本市の取り組みについて」「部活動の今後の方向性について」「これからの学校について」と題してご講演頂きました。今後の部活動のあり方、地域と学校との連携についてなど、質疑応答がなされ、大変有意義な時間をもつ事ができました。教育委員会の皆様には、コロナ対応で忙しい中、貴重な時間を作って頂き誠にありがとうございました。



任意加入及び
 個人情報取扱について

昨年度からの「任意加入及び個人情報取扱問題」について、総務委員会では、令和4年10月にこの問題やガイドライン作成の効果についてアンケートを実施しました。

昨年度12月作成のガイドラインについて、約7割が「参考になった」、意思確認や個人情報取扱のフォーマットについては約6割が「活用した」との回答をいただき、ガイドラインは一定の効果があったものと考えています。

さらにアンケートでの質問も踏まえ、11月22日、25日、28日に「令和4年度 単位PTA任意加入等説明会」を開催し、3日間合計で、リアルによる参加が26校、38名、オンラインにて24校、28名の方に参加いただき、再度、説明や質疑応答、意見交換を行いました。

各校の工夫や様々なアイデア、参考となる良い事例や改善事項が出てきて、大変、有意義な説明会となりました。(詳しくは改定ガイドラインの巻末を参照ください。)

今回、そこで出た様々な意見、成功事例や改善点を受け、各校の状況に応じた対応策の一助になることを願い、一部、ガイドラインの改定を行い、1月下旬に各校に送付しております。

子どもたちの見守りは、学校や家庭を中心として、地域も大変重要な役割を担っています。そんな活動を続けていただいている方を八幡東区からご紹介させていただきます。

お一人目は、花尾小学校元PTA会長 松島善成さん。松島さんは、今年20歳になる息子さんがいて、小学校を卒業してからも、「学校に通う子どもたちに笑顔」をモットーに早朝から子どもたちを見守ってくださっています。コロナ禍前は子どもたちにタッチをして学校に迎えていたが、最近はエアータッチをして子どもたちを迎えています。

次にご紹介するのは、(社)北九州市PTA協議会の会長の三浦隆史さん。

三浦さんは、現役の会長をしながら見守り活動を続けて11年目となります。祝町小学校の校門前で、登校してくる子どもたちの安全を願って活動を続けてらっしゃいます。子どもたちの元気な笑顔に、三浦さんも元気をもらっているとの事です。

お一人とも、つむぎながら登校する子どもにも、元気な声で挨拶をすることで、お互いが笑顔になり、気持ちよく「一口が通る」ようになるとおっしゃっています。

これからお身体に気をつけて、見守り活動を続けていただければ幸いです。



子どもたちの見守りは、学校や家庭を中心として、地域も大変重要な役割を担っています。そんな活動を続けていただいている方を八幡東区からご紹介させていただきます。

お一人目は、花尾小学校元PTA会長 松島善成さん。松島さんは、今年20歳になる息子さんがいて、小学校を卒業してからも、「学校に通う子どもたちに笑顔」をモットーに早朝から子どもたちを見守ってくださっています。コロナ禍前は子どもたちにタッチをして学校に迎えていたが、最近はエアータッチをして子どもたちを迎えています。

次にご紹介するのは、(社)北九州市PTA協議会の会長の三浦隆史さん。

三浦さんは、現役の会長をしながら見守り活動を続けて11年目となります。祝町小学校の校門前で、登校してくる子どもたちの安全を願って活動を続けてらっしゃいます。子どもたちの元気な笑顔に、三浦さんも元気をもらっているとの事です。

お一人とも、つむぎながら登校する子どもにも、元気な声で挨拶をすることで、お互いが笑顔になり、気持ちよく「一口が通る」ようになるとおっしゃっています。

これからお身体に気をつけて、見守り活動を続けていただければ幸いです。



子どもの見守り

PTAハンドブック



PTAは「Parents and Teachers Association」の略語で、保護者と教職員がスクラムを組む組織です。では、保護者と教職員は一体誰のためにスクラムを組むのでしょうか？それはもちろん「子ども」です。それも単に「我が子」だけではなく、学校に通うすべての子どもたちです。

保護者と教職員が「子どもたちの心身の健やかな成長」としての「最善」を常に考え、行動するボランティアの組織。それがPTAです。

そしてPTA活動は、委員会、本部役員など「役に当たった人」だけのものではなく、すべてのPTA会員、学校が協力して行います。

北九州市PTA協議会で



保護者や地域の皆さまへ

ご理解とご協力をお願い

北九州市立学校では、未来を担う子どもたちに「質の高い教育」を提供し続けるため、学校における業務改善を推進しています。今後は、令和5年2月策定の「学校における業務改善プログラム<第3版>」に基づく取組を、3か年計画で一層推進していきます。

具体的な取組例

学校・保護者間連絡等のオンライン化

全校で実施

小・中・特支学校及び幼稚園に、保護者連絡ツール「teturu (テトル)」を導入し、学校・園からの連絡やお便りの配付、また、保護者から学校への欠席や遅刻・早退連絡をオンライン化します。

日課表の見直し

各校で見直し

朝の活動や清掃活動の簡素化、授業時間の短縮など、日課表の見直しを行います。見直しによって生み出された時間は、児童生徒の質の高い学びにつながるよう有効に活用します。

部活動実施時間の徹底/段階的な地域移行

各中学校で(順次)実施

部活動の開始及び終了時刻を明確に設定するなど、平日における実施時間(2時間程度)の徹底を図ります。また、部活動の段階的な地域移行に向けた準備を進めます。

留守番電話機能の活用

全校で実施

原則、教職員の勤務終了時刻*から翌日午前8時00分の間は、留守番電話機能を活用します。
*教職員の勤務時間は、原則、平日の午前8時30分から午後5時00分までです。

学校行事のあり方見直し

各校で見直し

各行事の趣旨を生かした上で、学校行事の精選(内容・準備の見直し・簡素化含む)を行います。

- 先生が、
- ・授業やその準備など、子どもと向き合う時間を確保し
 - ・日々元気に子どもたちの前に立つとともに
 - ・魅力ある学校教育を実現する
- ために、皆様のご理解とご協力をお願いします。



問い合わせ先 北九州市教育委員会教職員課 電話:(093)582-2372

令和4年度

三行詩コンクール作品紹介

(一社)北九州市PTA協議会

小学生の部	氏名・学校名	学年
しゅくだいを さきにしてから ユーチューブ	原田 凌玖 大里柳小学校	1
お母さんに教えてもらった、たまごやきもう一人でも作れるよ 「おいしい」と言ってくれてありがとう	原田 愛唯 大里柳小学校	3
お誕生日ありがとうと、言われるけど、本当はお母さんお父さんにありがとうとつたえたい。	江良 琥珀 大里柳小学校	4
けんかじゃなくて話し合い 戦争やめよう命はありがたい	相原 正幸 大里柳小学校	5
あいさつと ありがとうと ごめんなさいは早いものがち	守口 弥生 鴨生田小学校	4

一般の部	氏名・学校名
思いきり 遊んでもらうぞ 思春期前	仲井 弾剛 祝町小学校
心を亡くすと書いて忙しい。たとえそうであっても、子どもの前では封印しよう。	穴井 秀和 祝町小学校
お母さんいつもとちがう 電話の声	三浦 琉華子 祝町小学校
けなされてるけど私のネタで大笑い 家族の笑いを作ってる満足感を 実は味わっている	三浦 真奈美 祝町小学校
戦争の映像みては 怒る子に 成長感じる 平和の心	三好 啓介 鴨生田小学校

24時間様々な危険からお子さまを保障する

2022年4月現在の内容です。

(一社)北九州市PTA協議会 推薦

小・中学生総合保障制度のご案内

本制度の特長

- 1 PTAを窓口とした団体割引(適用割引約46%/2022年度)により掛金が割安です。
- 2 「傷害(ケガ)補償」・「個人賠償責任補償」・「育英費用補償」の3つの補償でバックアップ!!
- 3 医師・看護師・ヘルスカウンセラー等による健康・医療相談。 4 セカンドオピニオン アレンジサービスがついています。
- 5 地震・噴火・津波によるケガの補償がついています。 6 児童・生徒が病気をされた場合の補償プランも選べます。
- 7 学校の授業・登下校中等、児童・生徒が携行している身の回り品の事故による損害補償プランも選べます。

こども総合保険

自転車総合保険

総合保障制度の内容を動画で紹介!!



AIG損害保険株式会社 北九州支店 (小・中学生総合保障制度係)

[住所] 〒802-0005 小倉北区堺町2-3-31 富士火災小倉ビル [電話番号] 093-511-3821 [受付時間] 午前9時~午後5時まで(土・日・祝日・年末年始を除く)

本制度の補償期間は2022年4月1日(午前0時)~2023年4月1日(午後4時)までとなっております。補償期間の途中からのご加入希望の場合には上記お問合せ先までお問合せ下さい。この広告は制度の概要を説明したものです。詳細につきましては、3月上旬に配布されましたパンフレットをご覧ください。上記お問合せ先までお問合せ下さい。

S-220529 202306